

有田町

第47号

平成26年3月

社協だより

●ボランティアだより●

福祉センターふれあい手芸クラブの皆さん
が手作りのコサージュをぐわこば保育園の
年長さんにプレゼントしました。

2/27



この後、じらかわ、おおぎ、やまだにの
各保育園にも贈られています。

もくじ

地域福祉活動事業の実施団体等の募集、活動内容紹介	P2
地区座談会を開催	P3
ご寄付のお礼	P4
梅の花見物、家族介護教室、高齢者サロンリーダー交流会、消防訓練を実施	P5
子育て支援「ちろりん村」、認知症予防講座開催地募集	P6
有田中部小学校より福祉体験教室、はばたけ!ボランティアin多久に参加	P7
社協見える化事業で看板設置、在宅福祉・介護サービス相談、社協ホームページ公開中、 3月・4月・5月相談所のお知らせ	P8

発行／社会福祉法人
有田町社会福祉協議会

●本 所
〒844-0027
有田町南原甲664番地4
TEL0955-41-1315

●西有田支所
〒849-4153
有田町立部乙2462番地2
TEL0955-46-4733
印刷／印刷ショップありた

地域福祉活動事業の実施団体等を募集します

【平成26年度 地域福祉活動助成制度があります。】

一定の基準を満たしている団体には、活動資金を助成する制度があります。
概要は次のとおりです。

助成金の財源

赤い羽根共同募金の配分金や香典返し等の寄付金が財源です。

助成対象とする事業

- 一、地域福祉の先駆的・開拓的事業、地域の公益性に貢献すると認められる事業
- 二、地域住民の福祉向上を目的とした福祉サービス、教育・研修を含めたイベントの開催、機関紙の発行等に関する事業
- 三、高齢者や障害者が、スポーツや集い、学びを通じて社会参加を促進できる事業
- 四、子育て支援や青少年の非行防止・健全育成等の促進を図る事業
- 五、交通安全、各種募金や奉仕活動、福祉施設の訪問や清掃活動、学校のボランティア教育等、地域福祉活動思想の普及や教育・実践に関する事業
- 六、前各号の事業活動に必要な備品等の整備その他の地域外の活動でも、有田町民がその活動の恩恵を受けられる事業

- 一、事業費の八十%以内（学校ボランティアを除く。）他の機関から補助等がある場合は、その額を控除した残額を事業費とする。
- 二、その団体の運営費や会食経費、構成員の報酬等は控除した残額を事業費とする。

助成の基準

問合せ先 有田町社会福祉協議会
☎ 41-1315

認定を受けた団体等には、6月末頃助成金を交付します。

助成金交付

4月10日（木）午後6時から助成金についての説明会を行います。助成希望団体の方は、ご出席ください。（様式は社協にあります。または、社協ホームページからダウンロードできます。）

助成金説明会

4月25日までに、助成金申請書をご提出ください。（様式は社協にあります。または、社協ホームページからダウンロードできます。）

認定審査

認定審査会を開き、その結果を応募団体に通知します。

平成25年度の地域福祉活動助成金を利用した団体の活動内容を一部紹介します。

【学校関係】

◇東日本大震災被災地（石巻市）との交流プレゼント材料代

◇学校周辺花いっぱい運動や清掃活動

◇老人福祉施設・老人保健施設への訪問や年賀状届け

◇M.R.駅舎清掃

◇24時間テレビチャリティー募金活動など

【地域福祉活動】

◇高齢者お茶のみ公民館

◇図書室おうえんだん七夕まつり

◇友愛踊り施設訪問

◇高齢者スポーツ大会開催

◇身体障害者スポーツ振興・相談活動・広報活動

◇障がい児親の会の講演会開催

◇高齢者・障害者・地域婦人の交流グランドゴルフ大会

◇ボランティア連絡協議会会員研修、広報活動

◇防犯ボランティア活動

◇施設やイベント会場での寸劇上演

◇傾聴ボランティア活動用ユニホーム等の整備



赤い羽根共同募金

地区座談会を開催中



A Q 住民と社協の良い関係を構築するため、アウトリーチ推進強化事業と位置付け、社協の職員が町内各地区に出向き、社協事業の広報と地区の福祉に関するニーズの把握を目的に地区座談会を開催しています。

A Q 平成25年度は、代々木、桑古場、山谷牧の3地区に、社協職員5名が各地区に出向き、社協事業の紹介や地区の皆さんからのご意見や質問をお聞きしましたので、その一部紹介いたします。

A Q 地域福祉活動助成金の配分先と金額はどうなっていますか。

A Q 福祉団体やボランティア団体などで地域福祉の推進や先駆的に活動されている団体からの申請に基づき、関係者で審査の上助成しています。

A Q 古切手やブルタブは社協で扱つておられますか。

A Q 社協のボランティアセンターで受入し、ブルタブは業者に販売して換金し、今年度は貸出用のチャイルドシートを2台購入しました。

訪問入浴は、お金がかっていますね。年間700万円くらいかかります。この事業のスタッフは、ヘルパー2名と看護師1名が従事していて、その人件費が主になります。

社協の予算は、年々増えているんですね。そんなに増えてはいません。横ばいの状態です。

北九州市では、ワンコインサービスで、庭の草取り等を頼めるところがあると聞いたが、有田町はないのですか。

共同募金の戸別募金を納めているが、その還付金はないのですか。

共同募金に対しても、社協事業への区の協力費として、一戸当たり250円の福祉推進費を区へ差し上げています。

社協の会費は、いくら位集まっていますか。

一般会費（各家庭からの分）360万円、特別会費160万円の520万円です。

香典返し寄付は、いくら位ですか。

年間800万円余りです。

福祉保健センターに行くにも足がない。催し物に参加したくても行けない。

社協で年1回開催している「社協福祉のつどい」では、来年度から、迎えに1回、送りに1回の限定でバスを運行したいと思います。運行時刻表も案内チラシに載せたいと思います。

社協の会長、副会長、理事などで、民間の方は何人位おられますか。

理事・評議員の方は、福祉に関する各種団体から選出されています。行政関係では副町長が理事になっています。

A Q

介護保険の考え方として「在宅介護」を勧めていて、社協も在宅福祉・在宅介護を基本に考えています。また、介護事業収益の中から700万円近くを地域福祉事業の財源に充てています。

以上、今年度開催した3地区から出された質問や意見の概要です。また、平成26年度も引き続き開催を計画しています。



開催希望区や問い合わせ
有田町社会福祉協議会

41-1315

ご芳志ありがとうございます。

寄付金の公表について

有田町社会福祉協議会では、町民の皆様からいただいた寄付金（香典返し等）については、寄付をいただく際に、寄付申込書にて寄付をされる方の意思をお伺いしております。

有田町社協としては、寄付者の意向を尊重し、寄付申込書にしたがって、下記のような公表をさせていただきます。

- ① 寄付者名・地区名、物故者名、金額全て載せててもいい。
- ② 寄付者名・地区名、物故者名までは載せて、金額は載せなくてよい。
- ③ 全て載せなくてもよい。

町民の皆様のご理解を賜りますようお願いします。

皆様からいただきました貴重な津財は
社会福祉事業に幅広く使わせていただいております

[寄付者にその意向をお尋ねした結果、一部記載がないところがあります。]

●香典返し

寄付者名	地区	物故者名	金額
篠原恵美子 様	泉 山	貞 彦 様	100,000円
藤井美貴子 様	中 の 原	満 夫 様	30,000円
山口 公良 様	蔵 宿	立石賢之助様	30,000円
下田 崇弘 様	岩谷川内	惇 子 様	30,000円
土本 澄子 様	外 尾 山	勝 次 様	30,000円
金ヶ江智三 様	本 町	富 子 様	50,000円
石橋 益夫 様	下 山 谷	幸 子 様	30,000円
松村 康信 様	外 尾 町	秀 子 様	30,000円
前山 達夫 様	大 木 宿	チ ョ 様	100,000円
安部 成美 様	丸 尾	修 一 様	30,000円
山下 良枝 様	本 町	進 様	30,000円
川崎 壽子 様	立 部	祐 男 様	50,000円
北島 輝次 様	本 町	キイ子 様	50,000円
原田 吉晴 様	応 法	マツ子 様	50,000円
古川キサ子 様	舞 原	利 一 様	30,000円

【自 H26.1.1～至 H26.2.28】

寄付者名	地区	物故者名	金額
古川 説規 様	北ノ川内	鈴 子 様	30,000円
吉永 誠 様	山 本	トクヨ 様	50,000円
原 惣一郎 様	佐 賀 市	功 様	
成瀬 秀昭 様	北ノ川内	ヒ デ 様	
金尾 艶子 様	赤 坂	聰一郎 様	
石丸 易志 様	戸 純	杏 子 様	
久保 清 様	黒 川	芙美子 様	
浅井 滋子 様	上 幸 平	房 子 様	
山下 洋 様	楠 木 原	スエ子 様	
堀 幸弘 様	下 山 谷	ス ミ 様	
佐々木喜代子 様	板 橋 区	貞 仁 様	
藤 加代子 様	南 原	藤本マサ子様	
石橋キミ子 様	岩谷川内	クラ 様	
齊藤美枝子 様	大 樽	譲 様	
山口 保子 様	上 山 谷	繁 様	

寄付者の意向により
金額は載せておりません

社協だより1月号の香典返し寄付の物故者名が一部間違っていました。下記により訂正し、お詫びします。
寄付者 田中勝尋 様 物故者名 大逗 様 (誤) → 大臣 様 (正)

デイサービス利用者 梅の花見物

デイサービス「やすらぎ」（有田町南原）では、2月24日から28日にかけ、伊万里市黒川町のうぐいすが丘梅園に梅の花見物に行きました。



デイサービスでは年間通して季節の行事を催し、利用者の方に喜ばれています。

また、デイサービス「くつろぎ」（有田町立部）でも梅林見物を楽しめました。

利用者からは「こがん素晴らしか所に連れてきてもらうて、本当にありがとうございました」と喜びの声が聞かれました。

第四回 家族介護教室を開催

2月21日（金）有田町社会会館において、グリーンヒル幸寿園理学療法士濱本龍之先生を講師に「介護の仕方のポイントと介護者のための運動」というテーマでお話しをしていただきました。

この日は、介護されている方や介護技術を学びたい方等18名が参加され、濱本講師の指導により口コモーショントレーニング（転倒予防など介護予防のための運動訓練）や腰に優しい介助法等を学びました。

濱本講師は、スライドを使った話をした後、介護ベッド使用時の寝返り・起き上がり・立ち上がり動作や車いすへの移乗動作を分かりやすく説明されました。参加者からは「自分が日頃行っていた介護の仕方は、これでいいのだろうか」と疑問や気づきの声が聞かれ、「自分の介護の仕方や介護予防の仕事は、必要不可欠な問題であり、介護教習室でも取り入れて行きます。



高齢者サロンリーダー交流会

2月13日、社会会館において、高齢者サロンを開催している13地区と来年度から開催予定の2地区のリーダーさんが交流しました。

社協からサロンの目的・内容、開催に要する助成金の説明をした後、各リーダーさんから年間計画や今までの活動実績などを発表されました。「他のサロンの状況を聞いて大変になつた。また聞いてください。」との声が聞かれました。



福祉保健センターとデイサービス「やすらぎ」では、3月3日午後2時に福祉センター湯沸室から出火した定で、消防訓練を行いました。

特別に避難誘導訓練では、高齢者が多数利用している隊で、有田町消防署の指導を受けながら、通報、初期消火、避難誘導等の訓練を行いました。

2回実施しています。防災計画により秋と春先の年

万が一に備えて消防訓練を実施



かれました。

子育て支援「ちろりん村」

有田館見学

有田雛のやきものまつり期間中、町中散策の一環として、ちろりん村の13組31名の親子が有田館を訪れ、七段飾りの雛段をバツクに記念写真をとり、楽しい一日を過ごしました。

2月18日（火）



ちろりん村サポーター会議

1月31日（金）

子育て支援「ちろりん村」の今後の運営や毎回のサポート上の課題などを話し合つてもらいました。

みなさん一緒に楽しい時間を過ごせるような行事を予定しています。来年度もたくさんのお友だちの参加を、スタッフ一同待っています。

ちろりん村開催日時 每月第2・第4火曜日
10時半から15時 場所 老人福祉センター「ちとせ」

平成26年度ちろりん村行事予定

- 4月 壁紙制作、自己紹介写真撮影
- 5月 フラワーアレンジ
- 6月 お皿に絵付け体験
- 7月 みずあそび
- 8月 みずあそび
- 9月 みそづくり（第5火曜）
- 10月 親子でハロウィン仮装大会
- 11月 いもほり
- 12月 ママもリラックスヨガ体験
- 1月 鬼のお面作り（豆まき）
- 2月 バス遠足（イチゴ狩り）
- 3月 ケーキにデコレーション

期日及び内容が変更になる場合があります。

平成13年度に国の「児童虐待防止対策事業」で始まった子育て支援事業を、有田町でも子育てサロン「ちろりん村」として開催しています。0歳からの未就園児と、その保護者を対象にした子育てサロンです。毎月2回、第2、第4火曜日に老人福祉センター「ちとせ」にて開催しています。

広々とした畳の部屋で、ゆったりのんびりと親子の時間を楽しむことができる、くつろぎと遊びの空間です。季節に応じた行事なども行っています。是非一度、見学にお出で下さい。



【ちろりん村とは】

認知症予防講座

開催地募集中

有田町社会福祉協議会では、各地区公民館に出向いて、出前の認知症予防講座を開催しています。

現在、日本の総人口は約1億2700万人で65歳以上の高齢者人口が、3,074万人といわれ、その内認知症高齢者は、約305万人、平成27年には370万人になるともいわれ、今後ますます増加するといわれています。

この講座は、佐賀県認知症介護指導員の先生方を講師に招いて、「認知症とはどんな病気?」「認知症の予防について」「高齢者につまでも食べる喜びを」など、いろいろな内容をスライドを使って分かりやすく、お話ししていただきます。

平成26年度の「認知症予防講座」の開催地を募集しています。

時間は、午前中または午後から1時間程度の内容になります。老人会の例会等に併せて開催されても結構です。

ご希望の区は、社会福祉協議会までご連絡ください。

☎ 41-11315



有田中部小学校3年生が福祉体験教室を開催

2月6日、有田中部小学校3年生（91名）は、車いすやアイマスクと白杖、高齢者疑似体験セットを使つた福祉体験をしました。これは、学校の総合的学習の時間を利用し、足や目に障がいを持つた方や、筋力低下や関節の動きが悪くなつた方がどのように不便を感じているか、どんな工夫をしているのか等の実際の体験を通しての学習をしました。



2月6日、有田中部小学校3年生（91名）は、車いすやアイマスクと白杖、高齢者疑似体験セットを使つた福祉体験をしました。これは、学校の総合的学習の時間を利用し、足や目に障がいを持つた方や、筋力低下や関節の動きが悪くなつた方がどのように不便を感じているか、どんな工夫をしているのか等の実際の体験を通しての学習をしました。



高齢者疑似体験では、耳栓や特殊メガネ、サポートターバーなどを着けることによつて、80歳位になつたときの状態を体験しました。体験した子供たちは腰が曲がつてしまつたり、階段の昇り降りが大変な事を知り、お年寄りへの気遣いや思いやりの心を学びました。



アイマスク体験では、教室に机や椅子で迷路を作り、障害物を置いた道を、アイマスクを着けて白杖を持ち、アイマスクペアの子と歩いてもらいました。思つていた以上に目が見えないと、とてもこわいということを知り、サポートの必要性を学びました。



この福祉体験を終え、3年生全員が、社会福祉協議会にお礼をこめた感想文を書いてプレゼントしてくれました。

人の支援・地域の支援による真の豊かさ、人の幸せを見つけていくことが大事。そのためには、地域で対人支援のできる「人づくり」が重要で、対人支援ができる人間になつたら、究極は自分自身の幸せへと連動していく。というような内容の講演で、今後のボランティア活動に大変参考になりました。

ボランティアin多久"に参加 "ばばたけ!"



2月15日（土）、多久市中央公民館において、佐賀県ボランティア連絡協議会主催による「第7回ばばたけ！ボランティアin多久」が開催され、有田町ボランティア連絡協議会会員22名と担当職員2名が参加しました。「孔子の里 獅子舞」による獅子舞踊りのオーディンティングに始まり、主催者の挨拶、横尾多久市長から来賓の祝辞があり、その後、多久市のホットミルク多久と小城市の地域活動ボランティアから事例発表がありました。

休憩の後、「地域の要となるボランティア活動」という演題で、九州大谷短期大学福祉学科教授 中村秀一氏による講演を聴講しました。人は、住みなれた地域で少しでも幸せな生活を求めて生きている。地域共同体・人間関係が希薄化している今日、公的支援だけでは幸せは得られない。

この福祉体験を終え、3年生全員が、社会福祉協議会にお礼をこめた感想文を書いてプレゼントしてくれました。

社協見える化事業で看板設置



【有田町社会福祉協議会】の団体名を入れた看板を掲げました。また、福祉保健センターと社協会館の駐車場入り口に、案内看板を設置し、来客者に分かりやすいように、「社協見える化」を図りました。

佐賀県社会福祉協議会の「地域福祉活動活性化メニュー事業」の助成金を活用し、有田町社協の所在地を広くピーアール

在宅福祉や介護サービスの相談は社協へ！

社会福祉協議会（社協）では、年をとっても自宅で安心して暮らせるように、高齢者の生活支援や、介護認定を受けられた後の介護サービスの利用方法など、さまざまな相談に応じます。社協には、高齢者福祉を担当している在宅介護支援センターの職員や介護保険サービスの利用をお手伝いする介護支援専門員（ケアマネージャー）が相談を受ける利用者やその家族にあつたサービス受け計画や介護事業所の紹介などをています。

社協の介護保険事業

①居宅介護支援事業（ケアマネジメント）
②訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

・身体介護
（入浴・排泄・食事・通院介助など）
・生活援助

③訪問入浴
(入浴車による自宅での入浴介助)

④通所介護（デイサービス）

「やすらぎ」「くつろぎ」の2か所で運営

高齢者福祉サービス

配食サービス、ベッドや車いす等の貸し出し、介護予防教室、高齢者サロン、医療機関への通院介助など幅広く行っています。お気軽にご相談ください。

有田町社会福祉協議会
☎ 41-1315

3月・4月・5月の相談所のお知らせ



期日 3月18日(火)
4月15日(火)
5月20日(火)

場所 有田町社協会館(南原)

時間
・心配ごと相談(民生委員)
10時から12時まで
・法律相談(弁護士)
13時から16時まで
(法律相談は予約が必要です。)

予約先: 有田町社会福祉協議会
☎ 41-1315

社協のホームページ公開中

昨年6月に有田町社会福祉協議会のホームページを立ち上げ、社協情報を随時公開しています。

トッピク、お知らせ、社協だより、かわらんをはじめ、社協の概要や募金活動、介護保険事業など事業内容等を掲載。また、社協に関する各種申請書の様式もダウンロードして利用できます。自宅・会社のインターネット回線やスマートフォンからもご覧になれます。アクセスしてみてください。有田町ホームページからもリンクできます。

アドレス [有田町社会福祉協議会](#) 検索